

CIRP LCE 2026 会議概要・計画書

1. 会議概要

ライフサイクル工学とは、製品ライフサイクル(製品の設計・製造・使用・保全・リサイクルなどの一連のプロセス群)をシステムの視点で設計・管理することにより、地球温暖化防止・資源(物質やエネルギー)の有効利用・廃棄物や環境負荷の削減・付加価値の向上を実現させるための学術・技術体系であり、エコデザイン技術、省エネルギー技術、リサイクル技術、保全技術、循環型システムの構築技術等を範疇に含む。

本国際会議の主催団体である国際生産工学アカデミー(CIRP)は、第2次世界大戦後の製造産業の興隆をはかるために、欧州で指導的な立場を務める生産技術研究分野の研究者が設立した国際的研究ネットワークである。CIRP が発行する学術雑誌 CIRP Annals - Manufacturing Technology は生産工学分野で世界トップクラスのインパクトファクターを誇っている。本国際会議は、CIRP が製造業の持続的発展を目指すために 1994 年に設立した「ライフサイクル工学(Life cycle engineering)に関する CIRP 国際会議(略称は CIRPLCE 国際会議)」の第 33 回目を日本で開催するものである。

近年の EU におけるカーボンニュートラル、循環経済に関する種々の政策、我が国の「成長指向型の資源自律経済戦略」の策定などの一連の動きは技術的にはライフサイクル工学の範疇にあるものであり、この時期に日本でライフサイクル工学に関する国際会議を開催する意義は極めて大きい。

本国際会議の目的は、生産技術に関わる研究、特にライフサイクル工学分野で活躍する研究者を国内外から一堂に集め(国外 80 名、参加者全体で 200 名を予定)、ライフサイクル工学分野の先駆的研究成果・実証例を議論し、会議を通じて、先進国間および先進国・途上国間での生産・消費のあり方に関する問題意識を共有し、それを解決するための共同研究を推進させ、製造業・機械産業の持続的発展に寄与することである。

本国際会議は、2026 年 3 月 11 日から 13 日までの 3 日間、国際的に知名度の高い鎌倉で開催し、環境負荷の低減や資源効率の向上に資する先駆的な研究成果や実践例からなる 100 件以上の一般講演と、国内外で当該分野を推進する指導的役割を担う企業、大学、政府の代表者による基調講演で構成される。また本国際会議では、参加者が省エネ・保全・リサイクル技術の日本の製造業の先進事例に触れる工場見学や、鎌倉近郊の市民や NGO がこれ

からの生産や消費のあり方を先進国・新興国の研究者とともに議論するワークショップを開催する。

2. 会議計画

2. 1. 運営団体

本国際会議の主催団体は、国際生産工学アカデミー(CIRP)であるが、実質的な運営は公益社団法人精密工学会ライフサイクル専門委員会が担当する。本専門委員会は、ライフサイクル工学分野の研究教育活動を活性化させることを目的とし 2001 年 2 月に設立された。これまでに、EcoDesign 国際シンポジウム、エコデザインジャパンシンポジウム等の学会運営協力にも携わってきた。特に、2017 年 3 月には、CIRPLCE 国際会議を日本に誘致し、国内外 207 名の参加者を集めた大会として成功させた。今回は、当会議を 9 年ぶりに国内で開催するものである。

2. 2. 実施体制

本国際会議の実施体制を表1に示す。実行委員会幹部は 2017 年大会開催時の実行委員の多くにより構成され、彼らの指導の下、ライフサイクル工学分野の若手研究者が実行委員として会議の準備・運営を行う。

2. 3. スケジュール

本国際会議は、2026 年 3 月 11 日から 13 日までの 3 日間、国際的に知名度の高い鎌倉で開催する。表 2 にプログラムの概要を示す。一日目から三日目にかけて、基調講演および一般公演を行う。三日目の午後には、本国際会議の参加者のための工場見学を実施し、我が国の優れたリマニュファクチャリング、リサイクル、エネルギー関連施設を外国人参加者等に紹介する。

なお、2026 年 3 月 16 日から 18 日には、同じ CIRP が主催する国際会議 CIRP Design 2026 を東京で開催する。この会議と連携しながら企画を進めて行く。

表1. 本国際会議の実施体制

氏名	所属	備考
高田 祥三	早稲田大学	名誉大会委員長
梅田 靖	東京大学	大会委員長
木下 裕介	東京大学	実行委員長
近藤 伸亮	東京大学	プログラム委員長
天沢 逸里	東京大学	
平岡 弘之	中央大学	
下村 芳樹	東京都立大学	
井上 全人	明治大学	
貝原 俊也	神戸大学	
木見田 康治	東京大学	
Clemm, Christian	東京大学	
高本 仁志	産総研	
小林 英樹	大阪大学	
高橋 理	三菱電機	
西野 成昭	東京大学	
野中 朋美	早稲田大学	
原 辰徳	東京大学	
蛭田 智昭	日立製作所	
福重 真一	早稲田大学	
藤崎 克己	三菱電機	
増井 慶次郎	産総研	
三竹 祐矢	東京大学	実行委員会幹事
三宅 岳	パナソニック	

表2. 本国際会議の暫定プログラム

	3/11(水)	3/12(木)	3/13(金)
午前	開会式 基調講演 一般講演	基調講演 一般講演	基調講演 一般講演
	昼食	昼食	昼食
午後	一般講演 ----- レセプション	一般講演 ----- バンケット	一般講演 閉会式